

# バリア そう アフリー

## みんなが気軽に 出掛けるため

私たちも普段、何げなく街中に出歩き、仕事や学校に行ったり、趣味を楽しんだりしています。しかし、お年寄りや障害のある方は、外出するだけでも大変なことがあります。それを理由に生活を楽しめないとしたら、とても残念なことです。負担が少しでも軽くなるよう、バリアフリー化が進み、また、みんなで支え合えば、もっと暮らしやすくなるでしょう。

巴をつぶつて歩いたことがありますか？自分の進む方向さえ分からなくて不安になるでしょう。障害のある方は、普段私たちに分からぬ不自由な思いをしています。

これを少しでも軽くするため、妨げとなるもの（バークア）を取り除き、建物や道路を使いややすくしていくことをバリアフリーといいます。

足が不自由で車いすを使っている方は、ちょっとした段差でも越えるのが大変ですし、階段の上り下りもできません。また、幅の狭いところは通れません。そこで、スロープやエレベーター、広い通路が必要になります。

目の不自由な方は、白いつえや盲導犬を頼りに歩いていますが、危険個所や方向を知るためには、交差点などにある黄色の点字ブロックや、ピヨピヨ・カッコーの音で方向を知らせる信号などが必要なのです。

### バリアフリーとは？



車いすの方でも通ることができる幅の改札機とエレベーター  
(地下鉄大通駅)



オストメイト（人工肛門・ぼうこう使用者）のために腹部洗浄用温水シャワーの付いたトイレ（地下鉄大通駅）

このほかにも、あまり知られていない障害がたくさんあります。それぞれに合わせた工夫が必要です。

### みんなが使いやすい 街並み



みんなが立ち止まる危険個所を知らせる点字ブロック

バリアフリーは、個別の不自由さを解消するための手段です。それがより多くの人に使いやすいものとして認められてきました。例えば、目の不自由な方のためにシャンプレーとリンスのボトルの違いを凹凸で表わしたところ、それ以外の人にも分かりやすいと評価されました。

このように、より多くの人に共通して使いやすい形を目指すことをユニバーサルデザインといいます。この考え方を街並みに応用すると、より多くの人が暮らしやすくなりますね。

耳の不自由な方は、駅などで音声の案内があつても分かりませんので、文字の行き先案内が必要です。

お年寄りはどうでしょ

うか。人により差はあります

が、年齢とともに、耳が遠くなつた

り、目が悪くなつたり、

足が不自由になつたり

寄りにも役立つものが多

いのです。

このための配慮は、お年寄りにも役立つものが多

いのです。

### さつぽろ車いす ガイドブック



バリアフリー化が進んだとはいえ、まだすべての建物が利用しやすい状態とはいえない。特に車いすを使用する方が外出先で困るのはトイレではないでしょうか。

このガイドブックは、車いす使用者用トイレが設置されている建物を案内するもので、駐車場やエレベーターの有無などの整備状況も掲載しています。また、地下鉄大通駅、さつぽろ駅のエレベーター乗り換え案内や、お出掛け応援情報など、車いすでの外出に役立つ情報がいっぱいです。

区役所二階保健福祉サービス課（南三西一一）、市役所三階福祉施設課（北一西二）で配布中です。

#### 詳細…福祉施設課

☎(211) 2972

